



平成 19 年 9 月 25 日

各 位

会 社 名：フロイント産業株式会社
 代 表 者 名：代表取締役社長 堀 哲郎
 (JASDAQ コード番号：6312)
 問 合 せ 先：取締役経営管理本部長 白鳥 則生
 電 話：(03) 5908-2611 (代表)

平成 20 年 2 月期中間期（連結・単独）業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 4 月 13 日の決算発表時に公表いたしました平成 20 年 2 月期（平成 19 年 3 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日）の中間業績予想について、下記のとおり修正いたします。

なお、通期の業績予想については、引渡基準を採用している機械装置類の売上計上時期が不透明であることから、現時点では期初計画どおり推移するものと予想しております。

記

1. 平成 20 年 2 月期中間期業績予想の修正（平成 19 年 3 月 1 日～平成 19 年 8 月 31 日）

【連結】

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	5, 200	320	200
今回修正 (B)	5, 900	460	290
増減額 (B-A)	700	140	90
増減率	13.5%	43.8%	45.0%
(ご参考：前期の実績)			
中間期 (平成 19 年 2 月期) 実績	5, 150	131	37
通期 (平成 19 年 2 月期) 実績	11, 539	640	403

【単独】

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	3, 600	100	60
今回修正 (B)	4, 100	240	130
増減額 (B-A)	500	140	70
増減率	13.9%	140.0%	116.7%
(ご参考：前期の実績)			
中間期 (平成 19 年 2 月期) 実績	4, 102	259	145
通期 (平成 19 年 2 月期) 実績	8, 214	481	295

2. 修正理由

- 単独については、機械部門における足の速い当期受注売上案件が積みあがったことが寄与し、予定通り進展している化成品部門と併せて、全社レベルでは社内情報システム更改に関わる償却費用や業績連動型報酬体系を指向している人件費などの負担増加を吸収し、期初の業績予想は上回る見通しです。
- 連結については、海外子会社では原価低減など利益率の改善と治験薬事業における黒字基調への転換により、上記の単独予想と併せ、期初の業績予想を上回る見通しです。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上